

第6学年「算数」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- 基礎的な四則演算はおおむね身につけている児童が多い。
 - 学習に取り組む姿勢が意欲的である。

課題

- ▼「割合」や「単位量当たりの大きさ」など文章から式を読み取ることに課題がある
- ▼分数の和差の計算を正確にできるように既習事項を振り返る必要性がある。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 文章から式を読み取る力。
- ◇ 既習事項を基に問題解決する力。
- ◇ 自分の考えを整理し、それを使って説明できる力

具体的な改善策

- 文章題から立式の仕方を考えたり、内容を図や表に表したりして問題場면을把握できるようにする。
- ノートに自分の考えを整理し、それを使って考えを説明できるようにする。
- 文章の中から重要な情報を毎回丁寧に確認する。

達成目標

- 分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解するとともに、分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりする技能を身に付ける。
- 数とその表現や計算の意味を発展的に考察して問題を見いだすとともに、多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形の性質や図形の計量について考察する力、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力などを養う。
- 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。